

鳥の様子

■サギの採餌

蒲生干潟は鳥の楽園として知られた場所である。豊かな生物群が与える豊富な餌があつてこそ鳥も集まるわけであるが、残念ながら地震前のような状態には戻っていない。しかし、少数ではあるが鳥の姿は見受けられる。Fig.1はドジョウをとらえたダイサギである。日和山の西側の池での様子であるが、残された環境でもある程度鳥類が生きるための餌は確保されているようである。

蒲生干潟が鳥の楽園に戻るためには、餌生物の確保が不可欠である。かつての干潟にはエビやカニ、ゴカイ類が多数棲息していた。食物連鎖の頂点に位置する鳥類を維持するためには、干潟の環境を整え食物連鎖の下位に位置する生物が安定して棲息する環境を整えることが重要であろう。



Fig.1 ドジョウをとらえたダイサギ(1)



Fig.2 ドジョウをとらえたダイサギ(2)



Fig.3 ミユビシギ



Fig.4 ホオジロガモ